

公表:令和 6年 2月 15日

事業所名 ゆうあいくらぶ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	3	肢体不自由児と自由に動き回れる子が一緒に過ごすには狭いため、廊下も利用しながら過ごしている。	児童に対する面積は満たしているが、放課後デイの利用者数増加に伴い、スペースの工夫や有効活用が必要。
	② 職員の配置数は適切であるか	4	2	1	特に学校休日の対応で、職員の出勤時間を変更しながら対応をしている。	曜日によって、児童の人数はことなる。1対1の対応が必要になることが多く、職員が足りないと感じる。パートなどの増員を検討。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	0	事業所内段差のないよう整備している。	車いす利用施設としては玄関ホールが狭い。事故がないよう危険な所は職員間で確認をしていく。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	4	0	全職員が集まることがなかなかできないため、短時間でも話し合いができるよう工夫している。	定期的な事業所会議を有効に活用しながら検討していく。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2	0	アンケートを実施し今後の業務改善に努めていく。家族の意向にそえるよう努力している。家事都合、体調不良で受け入れられない日の振替対応を実施している。	学校休日の受け入れ時間をどのようにするか検討が必要。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2	0		今年度の評価結果をホームページに公表している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	0	要望、相談等を多く報告し、助言を頂いている。	年2回報告を行い評価を受けている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	0	内部研修、外部研修ともに企画、参加している。	職員間での業務改善につなげている。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	対面での実施を基本としているが、難しい場合、お手紙、電話等で対応する場合もある。	保護者・利用者との面談でニーズを聞き取り、サービス検討会を開催。計画、評価につなげている。
⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	0		事業所独自のアセスメントシートにて、児童の必要な情報を取得し活用している。	

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	4	0		個人毎の活動や、集团的活動を取り入れて計画を立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	4	0		それぞれの利用日により、独自の活動や定期での支援は行っていない。細やかな設定まではできていない時もあるため、今後検討が必要です。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	4	0		児発、放課後デイと時間を分けて支援している。時間が一緒になることを極力避けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0		実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3	0	朝礼時、実施している。	実施している。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	4	0		できる時とできない時がある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	0		支援検討会議を実施し、対応を行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	0		実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	3	0		実施している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	3	0	児童発達支援管理責任者が中心となり、その児童の状況に応じて職種を選び対応している。	実施している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	2	0		実施している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4	0	家族からの情報はもらっているが、主治医等の連絡はできていない。指示書や情報提供書を発行してもらっている。	医師からの指示書や情報提供書をいただき確認している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	3	0	すべて児童についてはできていないが、必要な場合、適時行っている。	細かい対応や連絡については家族を中心にしながら実施している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3	0		適時、情報提供に努めている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1		時間の許す限り、積極的に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	3		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	4	地域圏域の児童協議会や医療ケア児の連絡会に参加している。	自立支援協議会はあるが、該当する部会はない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2	0		実施している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	0	相談を受けることはあるが、その際の助言等がペアレント・トレーニングになっているのかは疑問に思う。	今後、検討必要である。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2	0	変更があれば、お知らせをし、対応をとっている。	利用前に重要事項説明書や契約書等で説明を行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	0		適時、面談、電話等で対応させて頂いている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	5	事業所として対応してはいませんが、他市町村からの情報があれば、その都度お知らせしている。	父母の会の活動はできていない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0		苦情窓口を設置し契約時に説明と掲示をしている。苦情については直接確認と対応を行っている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	1	定期的に法人会報や報告写真を配布している。	年3回発行の「ともいき」はあるが、ゆうあい独自の会報はないので今後検討必要と思う。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	5	2	0		個人情報管理規定に基づき管理している。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2	0		事業所の目標にも定め対応している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	2		コロナや感染症流行等のため、地域交流はできていない状況。今後、検討しようである。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3	0	保護者に周知しているのは、緊急時、感染症マニュアルのみ。防犯マニュアルはない。	緊急時マニュアルを策定し周知徹底している。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	0	他の曜日の児童も参加できるように多くの日を設定し、試みている所。	年二回避難・災害訓練を実施している。
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	0	定期的に会議をし、対応をしている。	虐待防止マニュアルを整備している。
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3	1		現在身体拘束該当者はいないが、マニュアルを整備している。
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3	1		現在、食物アレルギーで指示書が出ている子はいないが、今後そのような子が出てくれば対応していかなければならない。

④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	2	1		記録はされている。 多くの記録は出ていないが、記入しやすい方法について検討が必要。
----	----------------------------	---	---	---	--	--

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。